参 考 1

□健康増進計画における現状と目標

メタボリックシンドロームの該当者の推定数

現状（H17）　63,243人　　→　　目標（H24）　58,545人

メタボリックシンドロームの予備群の推定数

現状（H17）126,292人　　→　　目標（H24）114,895人

（注）健康増進計画では、本計画によるメタボリックシンドロームの定義ではなく、８学会による診断基準に則って、推計を行っています。

参 考 2

□日本肥満学会など関係８学会によるメタボリックシンドロームの診断基準

日本肥満学会など関係８学会が定めたメタボリックシンドロームの診断基準は、下表のとおりであり、「必須項目」である内臓脂肪（腹腔内脂肪）蓄積に加え、「選択項目」の２つ以上の項目に該当する者をメタボリックシンドローム該当者、１つの項目に該当する者を同予備群としています。（「項目に該当する」とは、下記の「基準」を満たしている場合、または「服薬」がある場合です。）

◎必須項目

項　　目	基　　準
内臓脂肪（腹腔内脂肪）蓄積	ウエスト周囲径(腹囲)　男性 85㎝以上 女性 90㎝以上 （内臓脂肪面積　100㎠以上に相当(男女とも)）

○選択項目

項　　目	基　　準	服　　薬
血中脂質	・中性脂肪(TG)値 150mg/dl以上 （高トリグリセライド血症） ・HDLコレステロール値 40mg/dl未満 （低HDLコレステロール血症）	・高トリグリセライド血症薬物治療 ・低HDLコレステロール血症薬物治療
血　　圧	・最高(収縮期)血圧値 130mmHg以上 ・最低(拡張期)血圧値　85mmHg以上	・高血圧薬物治療
血　　糖	・空腹時血糖値 110mg/dl以上	・糖尿病薬物治療

（注）血糖については、空腹時採血を行うことが困難である場合などにおいて、空腹時血糖値の代わりにヘモグロビンＡ１ｃ（過去１～３ヶ月の平均の血糖レベルを表している。）を用いることが可能であり、5.5%以上を有リスクと判定しています。健康増進計画においても、これを採用しています。